

花植会(はなうえるかむ)

【浦河町】

はじまりは？

平成14年度に地域の幹線用水路が改修されたことに伴い、周辺に色々な花を植栽して美しい地域づくりを始めようと会を設立しました。

活動している地域は、雄大な日高山脈と太平洋を望む地帯にサラブレッドの牧場が連なっていて、日高地方を代表する牧歌的な農村景観を形成しています。この景観を地域の資源として捉え、そこに花の植栽活動を新たに展開して、農村景観の創出を図ることにより、訪れてみたい地域ナンバーワンを目指し、観光振興や軽種馬の販売向上につなげることを目標に活動しています。



フラワーロードの「アスチルベ」

おもな活動



ボランティアの協力による除草作業

農村地域の幹線農道と平行して流れている用水路との間の空間に、春から秋まで楽しむことの出来る花々を植栽し、全長800mのフラワーロードを管理しています。

会の構成員である農村地域の主婦が中心となって始めたフラワーロードでの花の植栽活動により、周辺農家の景観形成に対する意識に変化が見られるようになり、徐々に周辺の環境美化に取り組む住民が増加し、地域全体による農村集落の景観形成の機運が高まり、平成18年度からは3つの集落の人々が協力し合って、農道の草刈りや農業用排水路の草刈りや土砂上げなどの共同作業に取り組み、農村の景観を守っています。

これらの活動が周辺のサラブレッド牧場の景観と上手く融合し、サラブレッドの仔馬を買い求めに訪れる北海道内外の馬主やその関係者からも好感を持たれており、地域で生産している農畜産物の販売促進に貢献しています。

ここが自慢

【多彩な花が彩る街道】

農村地域の農道と用水路沿いの、全長800メートル、面積3,000平方メートルのフラワーロードでは、春から秋までの期間、季節毎に異なる花が楽しめる工夫がされています。特に6月のルピナス、7月のアスチルベ、9月のマリーゴールドの満開の季節には、緑の牧場とピンクや黄、青などの花とのコントラストは見事で来町者を和ませています。



フラワーロードの「ルピナス」

データ

■代表者: 桑田悦子さん / 設立: 2002年 / 会員: 11名

■連絡先: 浦河郡浦河町荻伏町15番地

■電話: 0146-25-2152

■FAX: 0146-26-3144